

株式会社ダイキアクス・サステナブル・パワー

廃食用油をバイオディーゼル燃料にアップサイクルし、CO2削減に貢献
四国地域内でのエネルギーの地産地消を目指した取組を推進

概要

同社は(株)ダイキアクスの再エネ（太陽光、小型風力発電）・バイオディーゼル燃料（以下BDF）・水熱処理装置関連事業を集約する形で2011年に設立。同社西日本事業所（松山市）では、BDFの製造・販売及び製造プラント設備の販売・メンテナンスを手掛ける。



BDF事業は、同社設立前の2002年に事業開始。天ぷら油等の廃食用油を回収・精製して製造されるBDFとしてブランド名「D・Oil」を開発。「D・Oil」を蒸留精製することで更なる高品質・高純度化を図った「D・Oil-N（B100）」、「B5軽油（軽油にD・Oil-Nを5%混合）」を主力製品として顧客に提供。

BDFは、廃食用油の廃棄に伴う環境汚染の防止に繋がるだけでなく、軽油代替のクリーン燃料として、ディーゼル車や業務用ボイラー等の使用時に排出されるCO2削減にも貢献。

また、BDF製造工程で発生した副産物（グリセリン）も工場内の燃料として活用することで省エネも図る。



取組ポイント

廃食用油のアップサイクル

西日本事業所は、日量7,000LのBDF製造能力を有し、愛媛県を中心とした四国地域の自治体や飲食店・食品工場等から廃食用油を回収して、BDFへアップサイクル（2024年度に販売したBDFによるCO2削減効果は約600tCO2）。

「B5軽油」は、主に輸送トラックや建築関連の重機・発電機向けに供給。他にもコンビニ配送車、自治体のごみ収集車や給食運搬車等でも活用されている。

最近では、松山空港はじめ、四国4空港のJAL作業車に「D・Oil-N（B100）」の供給を開始。



地域循環

廃食用油をもっと活用することをコンセプトに「油〜モアプロジェクト」を立ち上げて、地域と連携した資源循環の取組を推進。愛媛県内のホームセンター店舗を中心に市民向けの使用済天ぷら油の回収ボックスを設置。回収量の拡大に向けて、環境イベントでの普及啓発や愛媛県とも連携してポイント付与制度を導入。



今後は愛媛県内を中心とした事業から、四国全域での地産地消による資源循環型社会の構築を目指し、廃食用油回収先の拡大や配送における県外事業者等との連携を検討。

企業情報（エネルギーソリューション事業本部西日本事業所）

- ・事業内容 バイオディーゼル燃料の製造・販売及びD・Oil製造プラントの販売・維持管理
- ・所在地 愛媛県松山市北吉田77-74
- ・電話番号 089-968-6000
- ・ホームページ <https://dasp.daiki-axis.com/>